



チェスト行け!!かのや魂

オリンピック出場者



たかくら けん 選手
高桑 健 選手
(鹿屋体大卒)
200m 個人メドレー2位



しばた あい 選手
柴田 亜衣 選手
(鹿屋体大大学院2年・チームアリーナ)
400m 自由形1位 800m 自由形1位

快挙!

鹿屋体大から3人の

オリンピック選手が誕生!!

日本選手権入賞者



ゆもと あん 選手
湯本 杏 選手
(鹿屋体大3年)
50m 自由形2位



うへだ ともみ 選手
植田 富祐美 選手
(鹿屋体大4年)
50m 自由形3位



いがし たかみ 選手
五十嵐 貴美 選手
(鹿屋体大大学院2年)
200m 背泳ぎ7位



よねざわ ともか 選手
米永 智香 選手
(鹿屋体大4年)
400m 自由形3位
800m 自由形4位



4月19日、鹿屋体大の学生食堂に学生など約100人が集まりテレビ観戦。女子800m自由形決勝で柴田亜衣選手がゴールした瞬間、会場は歓声に包まれました。

市役所に掲げられた懸垂幕



4月21日、市役所で応援懸垂幕の懸垂式が行われ、芝山鹿屋体育大学長の発声にあわせて、懸垂幕を見上げて万歳三唱



4月30日、市役所を表敬訪問し、山下市長と握手を交わす柴田、高鍋両選手

ました。4月30日には、柴田選手と高鍋選手が、市役所を表敬訪問。2人に、山下市長が「オリンピック出場おめでとうございます。感動しました。北京ではこれまでの厳しい練習の成果と『かのや魂』をいかに発揮し、市民の皆さんに勇気と感動を与えてください」と激励の言葉を贈ると、柴田選手は、「オリンピックでは、自分の持てる力を全部出し切りたい。その結果、皆さんも感動してくれると思うので、応援をよろしくお願いします」と、高鍋選手は、「4年前は亜衣さんに感動を与えてもらった。今度は、自分が皆さんに感動を与えたい。今後も応援よろしくお願いします」と、オリンピックへの決意を話してくれました。

今後、2人は東京やアメリカでの強化合宿を経て、韓国で最後の調整に入り、8月の北京オリンピック本番に備えます。

市民の皆さんの声が3人に届くように、みんなで応援しましょう。

4月15日から20日まで、東京辰巳国際水泳場で北京オリンピックの代表選考会を兼ねた日本選手権水泳競技大会が行われ、鹿屋体大の大学院生で前回のアテネオリンピック女子800m自由形の金メダリスト柴田亜衣選手、鹿屋体大出身(平成20年3月卒)で現在鹿屋体大職員の高鍋絵美選手、同じく鹿屋体大出身(平成19年3月卒)で現在自衛隊体育学校所属の高桑健選手、3人が、今年8月に開催される北京オリンピックの代表に決定しました。

最初に代表入りを決めたのは高鍋選手で、17日に行われた女子200m自由形決勝で3位に入賞し、女子自由形800mリレーの代表に決定。高桑選手は、18日に行われた男子200m個人メドレー決勝で2位に入賞し、代表入りが決定。

柴田選手は、19日行われた女子800m自由形決勝で優勝し、2大会連続のオリンピック出場を決めました。鹿屋体大から、一度に3人のオリンピック選手が誕生するのは、初の快挙です。

また、このほかにも15日行われた女子400m自由形決勝では柴田選手が優勝し、米永智香選手が3位。18日の女子50m自由形決勝では湯本杏選手が2位、植田富祐美選手が3位。19日の女子800m自由形決勝では米永選手が4位。20日の女子200m背泳ぎ決勝では五十嵐貴美選手が7位と、5人が見事入賞を果たしました。しかし、日本水泳連盟が独自で定めたオリンピック派遣標準記録を突破できなかったため惜しくも代表に選考されませんでした。今回の日本選手権では、鹿屋体大が大躍進し



3月13日、日本選手権の前に鹿屋体育大学で行われた公開練習で厳しい泳ぎ込みを行う高鍋選手(左)と柴田選手(右)